

会議録

会議の名称	令和6年度 第1回加西市総合政策審議会
開催日時	令和6年6月20日（木）午前10時00分～12時00分
開催場所	加西市役所 5階 大会議室
議長の氏名 （会長 和田 真理子） 出席及び欠席委員の氏名 ＜出席委員＞ ・荒木 努 ・大野 聖佳 ・金田 敏秀 ・辻田 聡信 ・濱本 泰秀 ・樋口 真史 ・松本 寿泰 ・山下 光昭 ・和田 真理子 ＜欠席委員＞ ・岡田 美香 ・小川 進 ・大門 篤志 ・谷勝 公代 ・中野 重美	
傍聴者の人数 一般：なし 報道機関：なし	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・政策部長 深江 克尚 ・政策部政策課長 柿本 尚一 ・政策部政策課 課長補佐 高橋 知弘 ・政策部政策課 係長 谷口 成俊 ・政策部政策課 主査 垣谷 直宏 ・政策部政策課 主任 牛尾 充宏 ・政策部政策課 主事 三宅 里彩 ・政策部政策課 まちづくり推進員 小山 映	
1 議事 (1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方 (2) 実施計画（令和5年度実績）における評価・検証について (3) 内部評価の概要 2 その他 加西市地域創生戦略の状況報告について（令和5年度） 3 会議資料 会議次第、資料1～3、参考資料一式、別紙1～2、出席者名簿、配席図	

(別紙) 第1回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会 議 の 経 過 / 発 言 内 容
政策部長	1 開 会 <加西市政策部長あいさつ> お忙しい中、第1回総合政策審議会にお集まりいただきありがとうございます。感謝申し上げます。各分野各世代からの声を行政に反映させていく場として、引き続き忌憚のないご意見をいただき、令和6年度、7年度で総合計画の見直しを図っていくので、ご意見を賜りますようお願い申し上げます。
会長	2 委員の紹介 ※昨年度に引き続き、会長を和田真理子委員、副会長を濱本泰秀委員とする。 3 議事 (会長挨拶) 3年目の重責を担わせていただくことになった。 加西市は仕事、歴史、豊かな自然がある地であり、ため池や田んぼなどの自然に人が働きかけている優しい風景があり、ドライブに来る度に癒されている。そんなポテンシャルのある加西市が、ますます活性化するように、これからも市民の皆さんとコミュニケーションを取ることが重要だと思う。この審議会も、ただ座っていて終わるのではなく、たくさん資料を読み込んだり、活発に議論をしたりする場であるため、コミュニケーションを大事にしながら審議会を進めていきたいと思うので、委員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。
委員	(1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方(事務局から説明) ➤ 総合政策審議会の位置づけについて尋ねる。審議会の役割として市長の求めに応じた総合計画について審議をするということになっているが、現市長は何を求めているのかわからない。人口減の対策でいえば、前市長はテーマを挙げていたが、現市長はまだどのような方策をとるのか、基本理念は変わってくると思うが、その辺りが示されていないのでわからない。
事務局	➤ 長期的な総合計画の根幹の部分は変わるものではない。新しい市長の考え方や方向性については、後期の総合計画の見直しの中で今後、皆さんと協議をしながら反映させていただければと考えている。
会長	➤ 今年度後半から後期の総合計画の見直しの議論が始まるのでよろしくお願いいたします。
委員	➤ 首長が変わると公約が大きく変わる部分があることは当然だと思うが、それが総合計画に影響する部分はあるか。
事務局	➤ 昨年10月に開催した第4回目の総合政策審議会において市長が申し上げたが、基本的な部分は変わらず、病院の建て替え、小中学校の統合、市庁舎付属棟の建設の大型事業が変更点である。少子化対策の政策については変わらない方向性である。
委員	➤ 病院や学校についてはいろいろな委員会で議論されて方向性は決まっていたと思うが、付属棟の建設については唐突に出てきた印象がある。それについては十分説明する責任があり、建設する前提で議論するのは違和感がある。
事務局	➤ 事業の是非については総合政策審議会での議論に馴染まないが、取組に対しての意見は頂戴すべきだと認識している。唐突に出てきたというのは、こども家庭センターの設置が各自治体に努力義務付けられたということが大きい。現在、本庁と健康福祉会館の2カ所で行っている業務を、市民サービス上1カ所にまとめて行った方が有益だということもある。
委員	➤ 窓口を1カ所にまとめるということだが、ハンデを感じるような人からすると、大勢の人が集まる場所と分ける方がいいと思う。また、30億かけて先にするべきことなのか疑問がある。このような議論も総合政策審議会の場合ですべきなのかどうかを気にしながら審議すべきだと思う。
事務局	➤ 付属棟で行うようになる事務もあるが、療育などといった部分については引き続き健康福祉会館で行う。防災の起債も活用して、市の財政負担を極力かけないようにも考えられている。建設の判断については最終的に議会で問われるが、子育て支援、子育てしやすいまちの方向性については総合政策審議会でご意見を頂戴するものと認識している。

会長 事務局	➤ 今の話が今後、各事業を評価していく中で何か影響はあるのか。 ➤ 3つの大型事業は直接的にはKPIなどに影響はないが、第2期加西市行財政改革プランにまとめている10年間の財政収支に反映されていないため、令和5年度決算や大型事業を加味した後の第4回総合政策審議会でご協議いただければと考える。
委員	➤ 当初計画を策定した時よりも人口減の速度が顕著になっているため、基本的な財政収入の推移が甘かったと思っている。10年計画で当初策定された数値を早めに見直す前提で審議をする必要があると考える。
事務局	➤ 実情を申し上げると、令和2年度の国勢調査を基に試算をされているが、5つの無料化などの政策後に社会増となっている状況にある。市税に関しては、都市計画税の廃止もあったので、実情に合わせた形で見直し、第4回総合政策審議会で示し、ご意見を賜りたいと考えている。
副会長	➤ 我々が与えられている役割は、総合計画に沿って実施計画がきちんと回っているかを検証することだと思う。市の方向性が変わっていくのであれば、実施計画に反映していただき、変わっているところを示していただければ評価がしやすい。また、総合計画10年というのは長いので、今後も10年かどうかどうかも議論した方がいいのかも含めて、総合政策審議会の役割を言ってもらえればやりやすい。
事務局	➤ 実施計画については、新規の大型事業を含めた行財政改革プランを皆さんにご意見を伺うということにしたい。総合計画の見直しの時期にあたっており、一定長期的な展望は持っていただく時期だが、見える先までの加西市にとって有益な策についての取組を議論いただき、着実に目の前の課題を解決できるような提案もいただければと考える。
会長	➤ 神戸市の計画のように長いスパンで目標を考える必要がある一方、時代の変化は激しい。今年は前期から後期を見直す貴重な機会なので、皆さんの知恵が必要である。
委員 事務局 委員	(2) 実施計画(令和5年度実績)における評価・検証について(事務局から説明) ➤ 内部評価がでているということは、KPIはすでに設定されているということか。 ➤ KPIは設定しており、取組状況にも加味して評価をしている。 ➤ 去年の総合政策審議会で申し上げたが、KPIの設定の仕方に疑問を感じている。単に数値を求めるものではないかと思う。KPIの数値の設定については重々に考えられているのか。
事務局	➤ 当初目標を設定していたものと現状が変わっている部分については、今の時点でのKPIの目標達成値を見直している。その目標に対してKPIが妥当かどうかという部分に関して、最初に設定している指標は変えにくい部分があるが、事業の目的に達成するような別のKPIを設定し、定量的な指標を評価につながるように検討している。
会長	➤ KPIは毎年変わると長期的な評価ができないが、明らかに合わない場合には要素を付け加えるというような改善をしている理解でよいのか。
事務局	➤ その通り。取組内容も充実しないといけないので、目的を達成するような取組内容で作成いただいている。
委員	➤ 総合政策審議会では常にKPIの評価の仕方や目標が出てきているが、そもそもKPI数値をこれだけ詳細に作らないといけない理由はあるか。それとも定量で評価する部分を減らすということができるのか。
事務局	➤ 定量的な数値目標は参考として、数値的な表示をしておかないと判断が難しくなるため、KPIの数値の達成率というのは指標として各施策目標に応じて設定している。KPIがすべてではなく、目的を達成するための取組や実績内容が重要になってくるので、参考指標として定量的な数字を設定している。また、一つの施策目標にどれくらいの数が妥当かという部分もどのように変えたらいいか、ご意見いただき改善したい。
会長	➤ 非常に重要な点だと思う。客観的に評価する指標としてKPIが必要だが、それが全てではなく総合的に評価をしていく必要もある。
委員	➤ 外部評価の内容だが、総合政策審議会に出た意見をどのような形でフィードバックされているのか。
事務局	➤ 全体会での部会長からの報告を各担当部局へ情報共有し、10月頃に事業実施計画を作成する中でその意見を検討することとしており、その後予算査定を経て最終決定する。
委員	➤ 最後の各部会からの報告だけではなく、その前の段階で話し合った細かい意見も拾い上げて担当課に報告してもらおう方が、委員の立場からは嬉しく思うので、よろしくお願いしたい。
事務局	➤ 担当部長が出席している意見交換の場で直接担当部長に意見していただければ、各担当所管課の方に還元していけるので、部会でも説明してもらいたい。
会長	➤ 総合政策審議会での意見がどう反映されたか、具体的な例はあるか。

事務局 会長	➤ 次回までに内容をまとめて提出したい。 ➤ 委員としては具体的にわかると評価する励みになるので、教えてもらえるとありがたい。
委員	➤ 第2回の説明の場で、昨年度こういう意見が出て、結果こう反映した、という説明をしていただけるよう検討いただきたい。
会長	➤ 事務局は委員へフィードバックをお願いしたい。
会長	●部会について(事務局から提案) ➤ 問題はなさそうなので、委員の皆様は事務局から資料が郵送されるとご一読をお願いしたい。
委員	4 その他 加西市地域創生戦略の状況(事務局から説明) ➤ この説明は総合政策審議会の内容とどのような関係があるか。地域創生戦略は国の施策によるもので、加西市は、まだ総合計画に活かされていないのではないかと。国に報告が必要な資料であって、委員が説明を聞かなければならない義務はあるのか。
事務局 委員	➤ 進捗状況を説明させていただいた。 ➤ 補助金をもらうために計画されているのはわかるが、細かい説明をこの場で聞く必要があるのか。
事務局	➤ KPIが達成されているかどうかを外部の方に説明し、確認をしてもらう必要があるの、説明をさせていただいている。
委員	➤ なぜこの場でしないといけないのか。
事務局	➤ KPIは資料で確認いただき、意見があればいただくような形にさせていただく。
委員	➤ KPIも国から指示があって作った数字ではないのか。
事務局	➤ 加西市で決めている。
委員	➤ 市で決めている、国から指示されて考えているのに、委員が検討しなければならないのか。
事務局	➤ 外部委員に、正確に効果的に実施されているかの意見をもらう必要がある。
委員	➤ 委員に与えられた役割である、市長の求めに応じて審議をする総合計画についての話ではないのではないかと。
事務局委員	➤ 総合計画の中にある人口ビジョンに基づく指標になる。
事務局	➤ 次回からの部会の会議でやればいいのか。
委員	➤ 資料をもって報告とさせていただき、以上とする。
事務局	➤ 土嚢訓練を防災訓練としてカウントするのは疑問がある。避難訓練は全くできていないと報告があったため、土嚢訓練の数をもって数字がよくなっているのはおかしい。内容の質的に向上したものではないため、KPIの設定はよく考えてもらいたい。
委員	➤ 令和5年度についてはコロナ渦で実施できなかった分が着実に増えているため、令和4年度から令和5年度の増加分はその分が反映されていると認識している。
事務局	➤ 多少は増えていると思うが、その数値をもって良くなったと国へ報告するのは失礼ではないか。
委員	➤ 数値は国に対してではなく委員の皆様への報告になる。
事務局	➤ 行政側は目標や計画を発信し、それを受けた市民が実行することになるが、今の市民はコロナもあり地域力が低下していると思う。消防団や婦人会などいろいろな団体が弱体化している。そんな中で事業をするのは苦勞が多い。組織やリーダーを育成していくことは大事だと思う。また、資料にページを振ってもらいたい。
委員	➤ 次回からはページを振るようにする。組織の育成については、消防団や自治会に女性に入ってもらえるような取組をしているので、ご理解いただきたい。
事務局	➤ 社会増減の内訳はどうなっているのか。今後5年の計画を立てるのであれば、今後の人口バランスを見ておかないと意見の出しようがない。
副会長	➤ 社会増減は転入出の差引になる。ここ数年間の表も次回会議でお示しさせていただく。 閉会挨拶 地域創生戦略の方の委嘱も入っているのは分かりにくい話と思われ、事務局に整理をしてはつきり言ってもらいたい。総合計画の評価をすることに関しては、情報が多い方が話はしやすいため、例えば、本会議はここまででこれから先の話は時間のある方が残ってください、という2段階の形もいいかと思う。また、次回から各担当部長が出席されるが、会議後に課長に伝わっているか不安があるため、課長にも出席いただいて、委員側の生の声を聞いてもらいたいし、担当側の生の声も聞きたい。双方が歩み寄ることで有効な時間になるようにご配慮をお願いしたい。